

がん検診 負担少なく 元気に長く

～半日であなたと家族を守ります～

固保健センター ☎ (28)5520



**無症状だから
がん検診へ**

自分のからだ、見直してみませんか。

がんは、一生のうちに2人に1人がかかるといわれている、とても身近な病気です。がん で死亡する確率は男性26・7%、女性17・9%です。(国立がん研究センターがん情報サービス「2020年データ」)がんを早期に見れば、治療の選択肢も多く、治療後の予後も良好とされています。

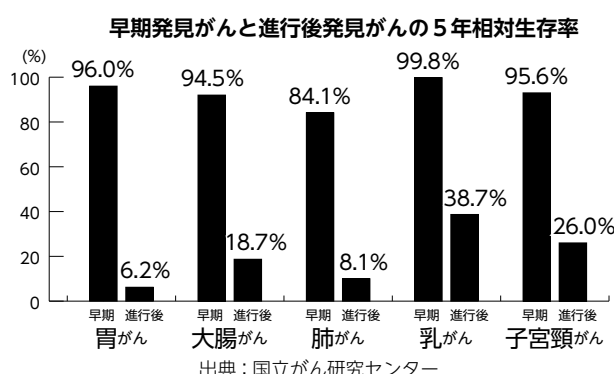
早期のがんは自覚症状がないため、がんを早期に見てきえるよう、がん検診は元気な時に定期的に受けることが効果的です。

**検診の目的は早期
発見・治療・救命**

初期の段階で発見し治療すると多くのがんで生存率は9割を超えています。

がん検診で発見されたがんは、早期がんであることが多く、早期治療を徹底すれば半数以上は完治しています(左図をご覧ください)。

※がんの進行の程度を表すステージIを早期、ステージIVを進行後として記載しています。



■コロナ禍におけるがん検診

新型コロナウイルス感染症の影響で、感染リスク回避のためにがん検診の受診が一時的に手控えられた時期がありました。

一度定期的な受診を控えると、それ以降も未受診となり、がんの発見が遅れる恐れがあります。

現在は、各検診会場で感染対策が徹底されていますので、皆さんも今一度がん検診に目を向け、定期的な受診を考えていただく時期に来ているのではないのでしょうか。

■がん治療は「早期発見・早期治療」

がんは「早期に見出し、早期に治療することが大切」とよく言われます。

早期がんの段階で発見されれば、比較的短い入院期間で治療できることが多く、その後は通院で経過観察となります。仕事を辞めなくても治療が完結し、日常の穏や



大阪府済生会富田林病院
消化器センター長兼外科部長

辻江 正樹医師

かな、またアクティブな生活に早く戻ることが可能となります。

しかし、進行がんになって発見されると、入院期間が長引いたり、抗がん剤などのつらい治療が必要になったり、転移や再発による症状が出てきて、それまでの生活の維持が難しくなることも多くなります。

「検診を受けてもしがんが見つかったら…」仕事に影響が出るのでは…」という漠然とした不安や恐怖のために、検診から遠ざかる方もおられるかと思いますが、それは違います。

がん検診は、皆さんの穏やかな安定した日常生活を守るために実施するものです。がんは早期発見・早期治療すれば、治療できる可能性がぐっと高くなります。

検診は半日で済みますので、ぜひ定期的にがん検診を受診されることをお勧めします。

無料

本市で無料で受けられる5つのがん検診

本市では、早期発見につながり治療を行うことで、死亡率を低下させることが科学的に証明されている検診を無料で実施しています。

胃がん



40歳～

胃部X線検査

胃内視鏡検査(50歳～)

大腸がん



40歳～

免疫便潜血反応

検査(検便)

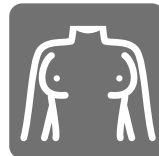
肺がん



40歳～

胸部X線検査

乳がん



40歳～

マンモグラフィ

(乳房X線検査)

子宮頸がん



20歳～

頸部細胞診

コロナ禍でがん検診の受診者数が、令和2年度は減少しましたが、令和3年度には戻ってきています。

令和4年度のがん検診を受けられる対象や検査方法、内容など詳しくは、4月号広報に折り込みの「令和4年度保健事業案内」をご覧ください。

令和5年3月31日(金)まで

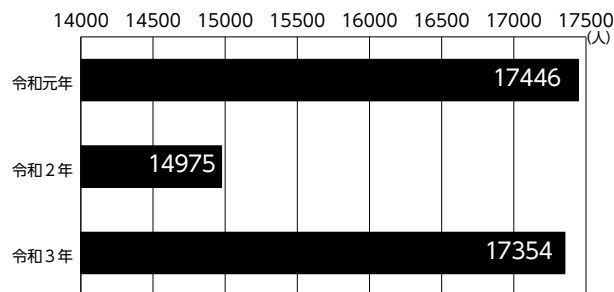
場申保健センターまたは実施医療機関

※がんミニドック(胃・肺・大腸がん検診)

は右図のQRコードからも申し込みできます。



本市のがん検診受診者数推移



もしがんが発見されたら

がんとは診断された場合、病気のことだけではなく仕事、お金、退院後の生活などさまざまな心配事や問題が出てきます。これらについては、質の高いがん医療を提供することができるよう指定された、地域のがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターの窓口にご相談ください。

ただ、発見が進行後になれば治療が大変になりお金も時間もかかります。長く健康で過ごすことは自分のためだけではなく大切な家族のためでもあります。結果を恐れず積極的に受診してください。

オンライン市民公開講座「教えて、がんのこと～がんの今、これから～」



大腸がん、乳がんはどんな病気なのか、その予防方法やがんゲノムといった最新の治療法の紹介を医師が分かりやすくお話しします。

同講座は本市と健康増進に関する協定を結んだ中外製薬株式会社の協力により開催します。

7月16日(土)、午後3時～5時5分

場すばるホール2階小ホール

「がんの検診」「大腸がん」「乳がん」「がんゲノム」についての講演

※辻江医師も登壇します。

定50人(先着順、当日直接会場へ)

※オンラインでも受講いただけます。

無料

問中外製薬株式会社

※右図のQRコードからお問い合わせください。

※当日会場で、がん検診の予約も受け付けます。



がんの予防方法

がんの原因は喫煙や飲酒、食事などの日常生活習慣に関わる場合も多く、左図のような5つの健康的な生活習慣を送ることでがんのリスクはほぼ半減します。

